



かごしま

2013年(平成25年)

第548号

# 市民のひろば

# 1

月号

市役所への問い合わせは

鹿児島市総合案内コールセンター  
**サンサンコールかごしま**



☎099-808-3333

FAX099-808-2525

✉ info@33call.jp

年中無休  
8時~21時

市ホームページ

鹿児島市 検索

http://www.city.kagoshima.lg.jp/

広報紙「かごしま市民のひろば」  
グラフ誌「市民フォト鹿児島」

ご覧に  
なれます

携帯サイト「鹿児島シティガイド」

市政の新着情報を  
配信しています。右  
の二次元コードから  
アクセスできます。



編集と発行 鹿児島市広報課 ☎099-216-1133 FAX099-216-1134 ✉ kouhou@city.kagoshima.lg.jp

◇点字版・音声テープ版を希望する人は広報課へ ◇配布の問い合わせは南日本リビング新聞社239-8124へ

## 【主な内容】

- 特集** 文化薫るかごしま 2013年新春パズル ..... ⑧・⑨
- 市政総合 ..... ③・④
  - イベント・講座 ..... ⑤~⑦
  - 暮らしのガイド ..... ⑩・⑪
  - 健康・福祉 ..... ⑫・⑬
  - すこやか鹿児島っ子 ..... ⑭・⑮

人口(平成24年12月1日現在・推計)  
※( )は前月比  
人口総数 607,800人 (+235)  
世帯数 269,158世帯(+125)



## 新春市長対談

(大切なものは保存しておきましょう)

平成25年の新春に当たり、本市出身で、初の「鹿児島市ふるさと大使」に就任していただいている、京セラ(株)名誉会長の稲盛和夫氏を森市長が訪ね、新春対談を行いました。日本航空(株)の取締役名誉会長としても、その再建に尽力されている稲盛氏が、ふるさと鹿児島への思いや企業経営の哲学を語ると、3期目をスタートした森市長が市政とまちづくりへの情熱と考えを述べるなど熱い対談が実現しました。

## 「人・まち・みどり みんなで創る “豊かさ” 実感都市・かごしま」を目指して

### ふるさと鹿児島への熱い想い

**市長** 本日は、郷土の大先輩の稲盛さんと対談の機会をいただき誠に光栄であり、心から嬉しく感謝申し上げます。

**稲盛さん** ありがとうございます。多忙な毎日ですが、日々、事あることにふるさと鹿児島のことを思い出します。鹿児島大学を卒業してからも、ふるさと鹿児島への想いは誰にも負けないうと自負しています。

そんな私を平成23年7月に「鹿児島市ふるさと大使」に任命していただき、大変光栄に思っています。私は、その前年の平成22年に政府の再三の要請を受け、日本航空(JAL)の再建を引き受け、全力で取り組み、昨年9月には再上場を果たすことができました。今年あたりからは少しは時間もとれるので、ふるさと大使としてもっと活動できるのではと思っています。

**市長** 本当にお世話になりました。稲盛さんの長年の経営者としての経験と卓越した指導力により、JALは見事に再建・復活を果たし、今後の発展が楽しみです。また、京セラは昨年9月、市内で国内最大規模となるメガソーラー発電所の建設に着手され、環境リーディングシテイを目指す本市としても大変期待しております。

ところで、私は稲盛さんの著書を読んだり、ご講演を拝聴

したりして、その内容に深く感銘を受けておりますが、改めて信念と言いますが、人生の哲学として大切に思っていることをお聞きしたいと思っております。

**稲盛さん** 私の哲学の根本は、「人間として正しいことを貫く」ということです。私は、27歳のときに京セラという会社をつくっていただきましたが、経営の経験も知識も全くなかったため、経営に当たってどう物事を判断すればいいのかわかりませんでした。私が判断を1つ間違えば、せつかくつくっていた会社潰れてしまうかもしれない、従業員を路頭に迷わせてしまうかもしれない。そう思うと、心配で心配で夜もろくに眠れませんでした。

何を基準にして経営の判断を下せばいいのかからなかった私は、いろいろと悩み考えた末に、子供のころ、両親や学校の先生から教わった「人間として何が正しいか」、つまり「やっ

(2面に続く)



京セラ(株)本社にて